



校外学習真っ盛り

校長 小澤 進

「百聞は一見にしかず」という言葉があるとおり、実際に見て、聞いて、触れて学ぶ体験活動は、子どもにとって意義のあることです。体験することで、自らの五感をフルに働かせ、楽しんで学ぶことができます。また、「楽しかった」「面白かった」「不思議だった」と感じる体験活動は、子どもの記憶に残るとともに、子どもの主体的な学習にもつながっていきます。どの学年でも、男鹿、秋田を学びのフィールドとした学習を行っています。

3・4年生

5月31日に、五社堂・赤神神社と、船川地区にあるスーパーマーケットの見学をしました。

五社堂・赤神神社に続く石段を登ったり、宮司さんから説明を聞いたりすることで、なまはげについての理解を深めました。また、スーパーマーケットのバックヤードを見学したり、インタビューをしたりすることで、スーパーマーケットの工夫や、働く人の願い、苦勞などについて、学ぶことができました。



1年生

6月2日に、男鹿水族館G A Oと、なまはげ館・男鹿真山伝承館の見学をしました。

G A Oでは、たくさんの生き物を見たり触れたりしました。また、大みそかの日に実体験をしているなまはげについては、男鹿真山伝承館で、改めて「親や先生の話ちゃんと聞いているがー」を体験しました。友達と一緒に体験活動、そして、お家の人に作ってもらったお弁当に、大満足の様子でした。

5・6年生

6月6日に、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の一つである伊勢堂岱遺跡、縄文館を見学し、北欧の杜公園の散策をしました。

5・6年生の社会科では、いよいよ歴史の学習が始まりました。今回の校外学習は、秋田県に縄文時代が存在したことを、学ぶ活動でした。今後は、男鹿市の歴史にも思いを馳せながら、意欲的に学習を進めてほしいと思います。



改めての連絡となりますが、様々な学校の様子については、北陽小学校ホームページで確認できます。どうぞご覧ください。アドレス <https://edu.city.oga.akita.jp/hokuyou-es/>